



### 水への恩返し Carrying Water Project

【発信日】 令和2年7月28日

【問い合わせ先】

水のがっこう（大野市明倫町3-42）

産経建設部建設整備課湧水再生対策室

松田 今村 電話 64-4813

（商工観光振興課観光振興室 マチルド

電話 0779-66-1111 内線 1812）

### ボードゲームで水の大切さを学びませんか

～水について世界の人々と協力してボードゲームを製作しました～

日本の環境省とフランスの環境連帯移行省の後押しを受け、大野市の視察団が2017年末にフランスを訪問したことをきっかけに、水と環境をテーマとした交流が、フランス オルレアン市と大野市の間で始まりました。オルレアン市の水の支援地であるベナン パラクー市を巻き込み、3つの市で水の大切さと水の普遍性を世界に伝えるための教材を作ることになり、この度、ボードゲームを製作しましたので、多くの方にご利用いただけるよう周知をお願いします。

#### 記

- 1 目的**
  - ・遊び感覚で水に関する知識を楽しく取得できるようにすること。
  - ・大野市、オルレアン市、パラクー市の互いの文化を分かり合い、水についての当たり前が異なっていることを知ること。
  - ・国際感覚の向上と国際交流を促進すること。
- 2 ボードゲームの名前** 「P2O と一緒に青い宝石を守ろう！」

「青い宝石」は「大切な水」を意味しています。「P2O」とは、水を表す分子記号 H<sub>2</sub>O にこのゲームを作った3つのまち、パラクー市 (Parakou)、オルレアン市 (Orléans) と大野市 (Ono) の頭文字を当て、生まれたキャラクターの名前です。
- 3 ボードゲーム製作に関わった地方自治体および学校**

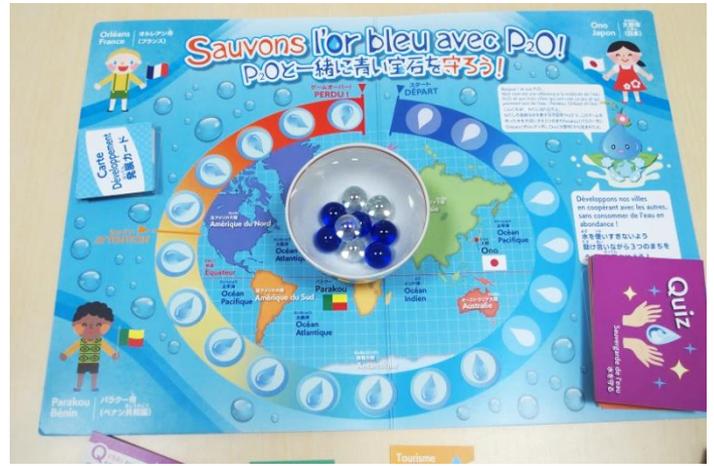
別紙資料のとおり
- 4 ボードゲームの内容**

別紙資料のとおり
- 5 今後の予定** 無料で貸し出すほか、授業や講座などに活用していきます。
  - ・市のホームページにてボードゲームを紹介します。
  - ・水のがっこう、本願清水イトヨの里、博物館、図書館、在日フランス大使館、在日ベナン大使館にゲームを設置します。

## 1 ボードゲーム製作に関わった地方自治体および学校

地方自治体	連絡先	学校
日本 福井県 大野市 	大野市湧水再生対策室 電話 0779-64-4813 メール <a href="mailto:mathildec@city.fukui-ono.lg.jp">mathildec@city.fukui-ono.lg.jp</a> <a href="mailto:imamura.s@city.fukui-ono.lg.jp">imamura.s@city.fukui-ono.lg.jp</a> 担当 今村、マチルド	有終南小学校
フランス ロワレ県 オルレアンメトロポール 	オルレアン市 国際課 電話 +33.2.38.79.26.96 メール <a href="mailto:celine.cornier@orleans-metropole.fr">celine.cornier@orleans-metropole.fr</a> <a href="mailto:manon.gerbaix@orleans-metropole.fr">manon.gerbaix@orleans-metropole.fr</a> 担当 コルニエ課長、マノン	Collège Alain-Fournier アラン・フルニエ中学校
ベナン ボルゲー県 パラクー市 	プログラム・予測局調整・開発・国際課 電話 (+229) 67 67 31 33 メール <a href="mailto:rodrigo.behague@orleans-metropole.fr">rodrigo.behague@orleans-metropole.fr</a> <a href="mailto:sisafi2014@gmail.com">sisafi2014@gmail.com</a> 担当：シナグリギ課長、ロドリゴ	CEG Titirou 一般教育コレージュ ティティ ル Collège Espoir Plus エスポワール・プラス中学校 Collège Nouvelle Boussole ヌヴェール・ブソル中学校

## 2 ボードゲームの内容



### ボードゲームの製作：

大野市、オルレアン市、パラクー市がともに利用できるボードゲームを製作しました。ゲームのデザインは各市の担当者がメールやスカイプ会議をとおり協力し考えました。クイズは各市の子ども達が作りしました。大野市からは有終南小学校が参加しました。

### ルール：

日本、フランス、ベナンに割り当てられた3人のプレイヤーが世界の水を使い、それぞれの国の家庭、農業、工業、観光を発展させていきます。世界の水は限られているので、プレイヤーはお互いの国を理解し助け合わなければいけません。プレイヤーは、クイズに答えて、各産業を節水化したり、別の国と産業の技術を交換します。水を使いすぎると全員がゲームオーバーになってしまいます。

### クイズ：

4つのテーマに分類されています。

れきし・ぶんかざい・しぜん：歴史、文化財、遺産、自然、観光地、人口、動物、植物

水のすがた：物理、化学、地理、気候、地形、季節

せいけつ・けんこう・しせつ・たべもの：衛生、健康、病気、食べ物、農業、バーチャルウォーター

水を守る：水資源保全、持続的な水管理、技術、水が無駄にしない工夫、SDGs



### 3 取組の背景

3つの市は長年にわたり、持続可能な水資源管理や若い世代を対象とした環境保全啓発活動に取り組んできました。このような自治体の行動は、低炭素社会の実現や、国連が2015年に定めた持続可能な開発目標（SDGs）の達成に重要な役割を果たします。

#### ・オルレアン市とパラクー市の活動

1993年から、フランスのオルレアン市とベナンのパラクー市は水分野における地域分権型協力に取り組んでいます（地域分権型協力＝フランスの地方自治体と支援先である海外の地方自治体と協定を結ぶこと）。両市は、井戸掘削、既存の井戸の修繕、水供給施設の運営維持管理の支援活動を行い、また、そのほかにも農業従事者や、職員、学生などに対する水教育推進にも力を入れています。



#### ・大野市の活動

大野市は現在も、市街地に住む約8割の市民が家庭用ホームポンプで地下水を汲み上げ、生活用水に利用しています。

しかし、昭和40年代後半には、市街地を中心に地下水位が低下し、多くの家庭で井戸枯れが発生し、御清水などの湧水地が枯渇しました。

このため、大野市では、地下水が無限にあるものではなく地域共有の水循環の上に成り立つ貴重な資源であることを認識し、その保全対策を地域全体で取り組んできました。

更にこれまで水に対する意識が「当たり前」であったものを「ありがたい」に変えていくため、「水への恩返し Carrying Water Project」を開始しました。東ティモールに6基の給水施設を整備することに支援したほか、水を学習するため子ども向けの本を製作するなど、数々の事業を行いました。

